



議会報告 2月議会

買い物、通院へ高齢者の足の確保を！

◆2月7日から22日までの定例県議会で、公明党は代表質問を行いました。昨年11月、8000人を対象に実施した「高齢者の暮らしに関するアンケート調査」の結果を基に「買い物や通院について高齢者の足の確保が必要であり地域バスや民間の交通機関が進出しやすくする必要があり」と質問。◆知事は、「**コミュニティバスの運行経費に対し補助制度を設けるなど、生活交通の維持確保を図る**」と答えました。

議員報酬と政務調査費の減額条例案提出！

- ◆ 公明党福岡県議団は、議員報酬と政務調査費をそれぞれ月額10万円減額する条例案を提出し「議員自ら身を削ることが求められている」など提案理由を説明。
- ◆ 自民、民主、共産は、これに反対し継続審査となりました。



主旨説明する公明党福岡県議団

飲酒運転撲滅を知事らに要請

◆2月9日、粕屋町で男子高校生2人が飲酒運転の車にはねられ死亡した事故を受け、公明党は、福岡県の飲酒運転事故発生件数は全国最悪であることを強く指摘。県知事、教育長、警察本部長に飲酒運転撲滅を求める5項目の要望書を提出しました。◆知事は、重く受け止める。アルコールを感知する車の製造にも力をいれろと答えました。

新開まさひこプロフィール

昭和32年6月生、西新小、百道中、大濠高校、創価大学卒業
津田産業(株)、神崎武法衆院議員秘書、平成11年から県議(3期)